

実施内容	ARスポーツ体験		体験領域	科学・先端技術
日付	令和6年3月8日(金)	場所	体育館	
実施校	北区立十条富士見中学校			
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・AR(拡張現実の空間)スポーツの体験を通して、先端技術に触れることで、科学技術に対する興味・関心を高め、理解を深めるプログラムとなっています。 ・チームで役割を分担し、作戦に応じて仲間と連携しながら勝敗を競うことで、楽しみながら他者を尊重する態度を養うことができる内容となっています。 			

ARスポーツの解説

- ・ARスポーツについて、競技の概要や装着器具などの説明を聞きました。
- ・今回体験するARスポーツは日本発祥のもので、現在39カ国以上の国で行われ、350万人以上が体験しているとの説明を聞き、生徒は驚いている様子でした。
- ・ヘッドマウントディスプレイやアームセンサーなどの使用機器を見て、生徒はこれから始まる体験に期待を膨らませている様子でした。



ARスポーツの体験

- ・競技の説明を兼ねて、ARスポーツを体験しました。競技の様子は、舞台上のスクリーンに映し出され、待機している生徒は興味深そうに画面の映像を見ていました。
- ・AR空間でエナジーボールでの攻撃や、シールドでの防御が成功すると、「ナイス！」と歓声が上がりました。



試合

- ・3人一組でチームをつくり、試合時間80秒の試合を、各チーム2試合行いました。
- ・各チームでそれぞれの得意な技能を把握して、役割を分担し、作戦を立てて試合をしていました。試合後はチームで振り返りを行い、プロ選手にアドバイスを求めるチームもありました。



プロ選手との試合

- ・生徒代表の2チームが、プロ選手一人とそれぞれ試合をしました。
- ・初めは「この人数の差があれば楽勝だよ」などの声もありましたが、試合が始まるとプロ選手の防御と攻撃が決まり、2試合ともプロ選手が圧勝すると、「すごい！強すぎる！」と驚きの声が上がりました。



参加した生徒の声・反応

- ・今回の体験がなければ、このスポーツを知ることや体験することができなかったので、私にとってとても貴重な体験になりました。見ているだけだと簡単そうでしたが、実際にやってみると相手の動きを見ながら正確に打つ動作がとても難しく苦戦しました。
- ・新感覚のARスポーツの存在を知り、体験することを通して、魅力的なスポーツだと感じました。仲間同士で協力して行うARスポーツは、貴重な経験となりました。
- ・学校という普段生活を送っている環境での体験活動のおかげで、仲間との絆がより深まり、仲間の新たな一面を知ることができました。また、ゲームをしているときはもちろん、見ているときもとても楽しむことができました。